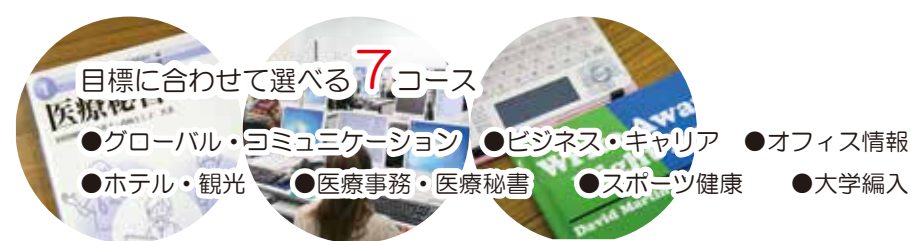


第116回秘書技能検定準1級合格



合格者メッセージ

Q1. 秘書検定を受験するきっかけ、目的は？

A1. 秘書検定はビジネスマナーの知識等の向上につながる検定ということで1年生の時から深く興味を持っていました。また、1年次に2級まで取得し、更に2級以上のビジネスマナーを身につけたいと感じ、秘書検定準1級を受験致しました。

Q2. 合格するために、どんな受験勉強をしましたか？

A2. (筆記試験) 秘書学担当の先生からお借りした秘書検定のテキスト・1年次・2年次の授業で使用していた秘書ハンドブック等を何回も繰り返し読んで、テキストの内容を一通り暗記しました。その後、実際の秘書検定で出題された過去問10回分を1回分の過去問につき5回解き、問題を繰り返し解き続けることで正解率も上がっていきました。また特に覚えるのが大変だった敬語は、何回も声に出しては、書きを繰り返しながら暗記しました。
(面接試験) 図書館でDVDを借りて、何回も視聴を繰り返し、試験の流れを確認しました。その後、先生の面接試験対策講座にてご指導いただきました。初めは、思い通りに行かないことも多く、逃げたいと思う事もありました。しかし、先生が熱心かつ丁寧にご指導くださったお陰で立ち振る舞い・身だしなみ・言葉遣い等を良い形に修正することができ、とても勉強になった2週間の面接練習となりました。

Q3. 合格した感想と今後の抱負は？

A3. (合格した感想) 過去6月の筆記試験では、一步のところで落ちてしまったので、まずは筆記試験に合格できたことがとても嬉しかったです。その後、面接試験を受験するための練習を始めたころはなかなかうまくいかず本番が心配でしたが、練習の甲斐があって本番ではスムーズにできたのでよかったですと今振り返って思います。今回の合格で、前回の悔しさを晴らすことができたことは本当によかったです。準1級合格に導いていただいた先生にはとても感謝しています。
(今後の抱負) 就職先の金融機関では、秘書検定で学んだ立ち振る舞い・敬語・ビジネスマナー等を最大限に活かし、信頼し頼りにされる行員になれるよう頑張ります。

Q4. 後輩へ一言

A4. 秘書検定を受験を通して、知識向上・社会人として必要なマナー・能力・立ち振る舞い等を学ぶ事ができます。正直1年次は授業で忙しいし、2年次の前期は就活で大変な時期ですが、実際に秘書検定を受験するときは、何度も逃げたいと思う事もありましたが振り返ってみると大いに成長できたと感じています。ぜひ秘書検定準1級まで短大在学中に1度でもいいので受験してほしいと強く思います。

Q5. 今後の目標など

A5. 秘書検定で学んだ事を活かし銀行員として、またホスピタリティのある人間になっていけるように、これから新たな場所で頑張りたいと考えています。

秘書検定を
含めて
全39資格
の取得を
サポート

